

学籍番号

氏名

A.括弧 () に適当な文字、数字、用語等を入れなさい (各2点)。

大胸筋の起始は1. (鎖骨)、2. (肋骨)、肋骨、腹直筋筋で、停止は3. (腕) である。横紋筋筋線維の中に径1-2ミクロンの線維が含まれており、4. (筋原) 線維という。これは5. (アクチン) とミオシンからなり、収縮、弛緩に関わる重要な構造である。神経の刺激を細胞の奥まで伝える構造が6. (T) チュブルで、終末曹は7. (Ca) イオンを貯めこみ、刺激に応じ、細胞質に放出する。

腹腔において前腸から形成されるのは胃、十二指腸の一部、8. (唾液腺)、9. (食道) などである。

胃の粘膜において、塩酸を分泌する細胞は10. (壁細胞) で、多数の11. (ミトコンドリア) を持つため、エオジンに強く染色される。

正中軸に対し、右気管支の角度と左気管支の角度を比較すると12. (右気管支) が小さい。奇静脈は13. (右) 気管支を乗り越えて、14. (上) 大静脈に後方から注ぐ。

大動脈弓から15. (頰動脈) 動脈、16. (左) 鎖骨下動脈、17. (左) 総頸動脈がでる。これらの血管は胸骨柄の18. (左) 1/2に投影される。血管内皮細胞には内部に筋状構造を持つ19. (Weibel-Palade) 顆粒が存在する。BBB (blood brain barrier) を形成する毛細血管は20. (有孔) 型毛細血管であり、内皮細胞はお互いにしっかりした21. (タイト) ジャンクション (junction) で結合している。

上腕骨が上腕にあり、22. (尺骨)、尺骨が前腕にある。掌を前にした時、親指側にあるのが23. (橈骨)、小指側にあるのが24. (尺骨) である。頰骨は25. (骨) 芽細胞が作り、コラーゲンと26. (GAGs) が含まれる。ここにカルシウムの結晶27. (石灰質) が沈着し骨基質となる。

男性の生殖腺は28. (精巣) 巢、女性は29. (GP) 巢である。

気管軟骨2,3の前にあるのは30. (甲状腺) の峽である。

中枢神経はそれぞれの部位で髄液を入れる空間と対応する。大脳は側脳室、31. (側脳室) は第3脳室、中脳は32. 中脳 (水道)、小脳、33. (橋)、延髄は34. 第 (4) 脳室、脊髄は中心管である。

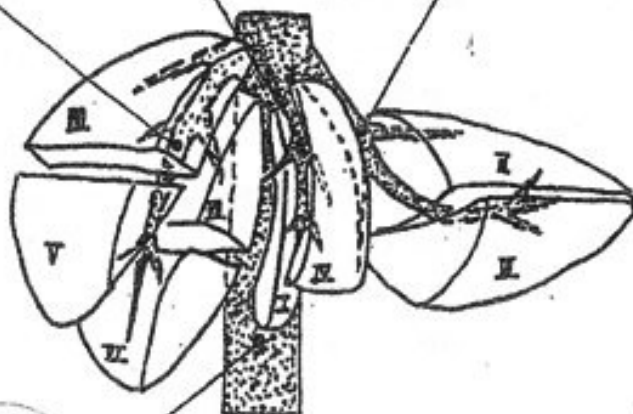
腰神経叢の中で大腰筋の内側を走るのが35. (仙骨) 神経、貫くのが陰部大腿神経、外側面を走り大腿の伸筋に分布するのは36. (大動) 神経である。

網膜孔の前壁を形成しているのは37. (肝 + 中腸) 靱帯でその中には

38. (門脈系)、39. (固有肝静脈系)、総胆管が含まれる。3つの管のうち前から見て一番後ろにあるのは40. (門脈系) である。腎臓の後ろに存在する筋は41. (大腰筋) で、内側にある筋は42. () である。

B. 次の図の空欄に適切な血管の名称を入れなさい。各2点

43. (右肝静脈) 44. (肝静脈系) 45. (左肝静脈系)



肝臓区域

46. (下大静脈)

C. 次のCTにおいて左心房は47. (), 右心室は48. () 右心房49. (), 左心室は50. () 心室中隔はIVSである。各2点

横断面 (心臓の4つの部屋)

